

学校通信 誠実

中央市立田富中学校
学校だより（学校通信）
発行 校長 丹澤 博
令和4年度 10月号
2022.10.19（水）

中巨摩新人体育大会

10月13日（木）15日（土）、中巨摩新人体育大会が行われました。本校の生徒は精一杯戦い、多くの部が県大会に駒を進めました。悔しい思いをした部もあると聞いていますが、県大会や来春に向けて、課題を解決し、更に成長して欲しいと思います。大会に先立って10月7日（金）には選手壮行会が行われました。各部ともしっかりした態度で決意表明しました。また、3年生を中心とした応援も素晴らしいものでした。

中巨摩新人結果		
	10月13日(木)	10月15日(土)
男子バレー	田富 0-2 押原 田富 2-0 櫛形 田富 0-2 航空	田富 2-0 櫛形 田富 2-0 甲西 5位 県大会出場
女子バレー	田富 0-2 敷島	田富 0-2 玉穂 田富 0-2 櫛形
野球	田富・玉穂・竜王・押原 3-1 双葉	田富・玉穂・竜王・押原 4-2 白根巨摩 バート優勝 県大会出場
男子ケバ	田富 42-43 押原	田富 72-40 櫛形 田富 77-55 玉穂 5位 県大会出場
女子ケバ	田富・甲西 98-12 若草中 田富・甲西 39-73 玉穂	田富・甲西 56-22 押原 田富・甲西 70-40 双葉 5位 県大会出場
陸上	齋藤よしの 共通800m 2位 山田若葉 共通走高跳 1位 佐久間虹汰 共通走幅跳 2位 佐野蒼真 共通800m 2位 依田悠慎 1年走り高跳び2位・100m3位 成澤武琉 1年100mH 2位 小倉玲音 共通砲丸投 3位 河西悠風 共通100m 3位 斎藤陸玖 1年800m 2位 リレー 共通女子2位(田中成業・河西悠風・山田若葉・小林愛) リレー 共通男子3位(今井奏汰・ケリークス・井上瑠希・上野由翔) 部員全員が小学校で、陸上記録会の練習指導をしてくださいました。	
	八巻一飛 共通3000m 4位 佐久間虹汰 共通走幅跳 6位 小倉玲音 共通砲丸投 6位 上野由翔 共通円盤投 5位 丹澤優哉 共通砲丸投8位・円盤投8位 斎藤陸玖 1年800m2位・100m6位 依田悠慎 1年100m8位・走高跳6位 成澤武琉 1年100mH2位・3000m8位 リレー共通男子4位(今井奏汰・ケリークス・井上瑠希・上野由翔) リレー1年男子5位(藤原巧農・斎藤陸玖・向山夏空・依田悠慎) 山田若葉 共通走高跳4位 リレー共通女子5位(田中成業・河西悠風・山田若葉・小林愛)	

卓球	男子 準優勝 団体戦5勝1敗	
男子テニス		団体戦 田富 2-1 竜王北 田富 0-3 敷島
女子ソフトテニス	村松美沙・今井愛梨 ベスト8 県大会出場 荒川美咲・佐蔵月花 ベスト16県大会出場	団体戦 田富 1-2 双葉
カサバ	田富 0-1 双葉 田富 0-2 竜王北	
柔道	川村英二 2位(66kg級)	
ステニ	笹本奏汰 3位	



最近の様子から



10月4日（火）教育課程到達度検査が体育館で行われました。真剣さが伝わってきました。

3年TT室：テスト前は全教科を月～金、通常は火・木（数学中心）に放課後学習会を実施しています。

1年生数学：「どのように学ぶか」に全校体制で取り組んでいます。平時のタブレット持ち帰りも始まっています。

10月17日（月）南甲府警察署生活安全課少年係の方をお招きし、非行防止講和を実施しました。

税の標語表彰

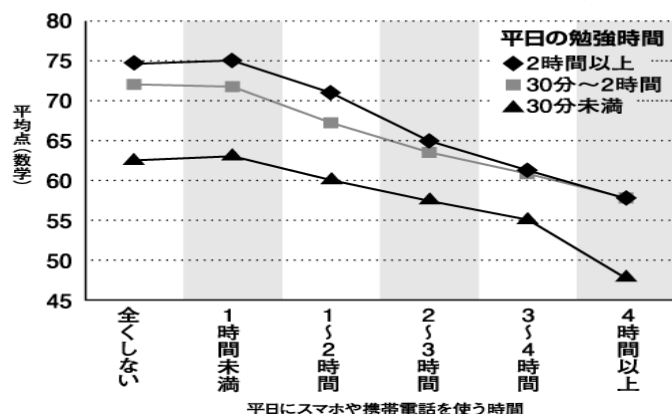
2年生の宮平アユミさんが県2位にあたる甲府税務署長賞を受賞しました。応募数7,867作品の中での2位です。石井愛さん（2年生）も優秀賞を受賞しました。

「意味と意義 知れば納税 誇らしい」 ← 宮平さんの作品

スマホや携帯電話の使用時間・家庭学習の時間と学力の関係(生徒向け)

学校運営協議会委員の方から、スマホ等の使用時間と学力の関係、家庭学習時間と学力の関係を生徒に示してあげて欲しいというご意見をいただきました。各学級でこれらの資料から読み取れることを確認しました。

スマホや携帯電話を使う時間ごとに見た数学の平均点



← 仙台市教育委員会と東北大学が数万人規模の中学生を対象に調査した結果で、昨年度、紹介したデータです。7万人のデータとのことです。グラフから何が読み取れるでしょうか。この平均点は全国学力テスト数学の点数です。学力・家庭学習の時間・スマホや携帯電話に使う時間の3つの視点から見ています。

まもなく中間テストがありますが、グラフや表から読み取ったことを自分自身の生活に生かしてください。(情報活用能力・自己調整力とも言えます。)

1日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマホを使いますか。		平均正答率(%)			普段(月から金)、1日当たりどれくらいの時間、家庭学習をしますか。(塾を含む)		平均正答率(%)		
		国語	数学	理科			国語	数学	理科
1	4時間以上	59.5	39.9	41.7	1	3時間以上	73.1	59.1	53.3
2	3時間以上、4時間より少ない	64.3	45.4	44.9	2	2時間以上、3時間より少ない	72.3	56.3	51.7
3	2時間以上、3時間より少ない	67.7	50.3	48.2	3	1時間以上、2時間より少ない	70.1	52.6	50.0
4	1時間以上、2時間より少ない	71.7	56.0	52.3	4	30分以上、1時間より少ない	67.4	48.5	48.3
5	1時間より少ない	76.0	60.1	55.5	5	30分より少ない	63.8	44.1	46.0
6	全くしない	77.4	60.1	55.8	6	全くしない	57.4	37.4	41.5

↑今年度実施した全国学力テスト、約92万人のデータです。普段(月から金)、1日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンを使いますかという質問結果と全国学力テストの得点の関係です。

↑同じく今年度の中学3年生、全国約92万人のデータです。家庭学習時間ということで、本来、学習内容も問われるべきだと思いますが、単純に家庭学習時間と学力の関係を表した表です。

「キャリア教育」について

学校運営協議会の中で「キャリア教育」に関わる評価が他の項目より低いことをお伝えしたところ、委員から昨年度の学校だより9月号をもう一度確認したら良いのでは、という意見をいただきました。一部を紹介します。

一般にキャリアと言えば、職業のこと？ 経歴のこと？ など、いろんなイメージがあります。ただ、学校で言う「キャリア」という言葉は、もっと広い意味で使います。「生徒の皆さんが体験するすべての事柄」「すべての経験」「役割を果たすこと」が、その生徒にとってのキャリアという考え方です。もちろん職場体験活動、進路学習もキャリア教育の中心ですが、毎日の授業で、学んだこと・発言したこと・間違えてしまったこと、学級で係を任されたこと、部活動でポジションを任されたこと、青雲祭に情熱を傾けたこと、ボランティア活動をしたことなど、そのすべてがその人の生き方(必ずしも職業に限定したことはありません)に関わります。この積み重ねの中で自分自身の価値や役割を学ぶことが「キャリア教育」です。これらを特別活動の時間を要として全教育活動で行うわけですが、教科書はありません。「キャリアパスポート」というファイルに記していきます。

我々教職員は「今、学んでいることは社会とつながっている。一人一人の将来につながる。」というポイントをおさえた指導を心がけるとともに、生徒の皆さんが将来職業についた時(何らかの役割を担った時)「学校で学んだこと、体験したことが生きている。役に立った。」と実感してもらえたら、この上ありません。